29　　派閥の作り方 　文法　比況形

宋の時代、官僚が朋党〔＝派閥〕を作り党争が起こることもしばしばであった。そこで、は天子に次のように進言した。

凡ソ 君　子ト 与㆓ハ 君　子㆒、以㆑テ 同㆑ジクスル道ヲ 為㆑シ ヲ、㋐小　人ト 与㆓ハ 小　人㆒、以㆑テ 同㆑ジクスル利ヲ 為㆑ス 朋ヲ。此レ 自　然　之　理　也。

然レドモ臣　「小　人ニハ 無㆑シ 朋、惟ダ 君　子ニハ 則チ 有㆑ルノミト 之。」其ノ 故ハ 何ゾ 哉。小　人ノ 所㆑ 好ム 者ハ、利　禄　也。所㆑ノ ル 者ハ、貨　財　也。及㆓ベバ其ノ 見**一レ**ルニ 利ヲ 則チ 争㆑ヒ 先ヲ、或イハ利　尽ツクレバ 則チ ① 。

君　子ハ 則チ 不㆑ 然ラ。所㆑ノ 守ル 者ハ 道　義、所㆑ノ 行フ 者ハ 忠　信、所㆑ノ 惜シム 者ハ 名　節ナリ。以㆑テ 之ヲ 修㆑ムレバ身ヲ、則チ 同㆑ジクシテ道ヲ 而　相　シ、以㆑テ 之 ㋑事㆑フレバ 国ニ、則チ 同㆑ジクシテ心ヲ 而　共ニ シ、②終　始　如　一。 此レ 君　子　之　朋　也。故ニ 為㆓ル 人　君㆒者ハ、③　シ㆘ ㆓小　人　之　　㆒、㆗君　子　之　真　㆖。則チ 天　下　治マラン矣。

【原文】

凡　君　子　与　君　子、以　同　道　為　朋、小　人　与　小　人、以　同　利　為　朋。此　自　然　之　理　也。

然　臣　謂、「小　人　無　朋、惟　君　子　則　有　之。」其　故 何　哉。小　人　所　好　者、利　禄　也。所　貪　者、貨　財　也。及　其　見　利　則　争　先、或　利　尽　則　交　疎。

君　子　則　不　然。所　守　者　道　義、所　行　者　忠　信、所　惜　者　名　節。以　之　修　身、則　同　道　而　相　益、以　之 事　国、則　同　心　而　共　済、終　始　如　一。 此　君　子　之　朋　也。故　為　人　君　者、但　当　退　小　人　之　偽　朋、用　君　子　之　真　朋。則　天　下　治　矣。

問一　次の「内容わしづかみ」の空欄に本文中の漢字を書き入れよ。

欧陽脩は天子に対し、派閥を構成する人物が〔　　　　〕かつまらない者かを見分け、〔　　　〕のために〔　　　〕を一つにして仕えることのできる〔　　　〕の仲間を登用して〔　　　　〕を治めるよう進言した。

問二　波線部㋐・㋑のここでの意味を答えよ。〈4点×2〉

㋐〔　　　　　　　　　　〕　㋑〔　　　　　　　　　　〕

問三　チェック問題　比況形

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 猶シホ（由）㆓〜㆒ノ（ガ） | | 似㆓タリ 〜㆒ニ | | 如シ（若・似）㆓〜㆒ノ（ガ） | |
| ちょうど～のようだ。 |  |  | ～に似たり | ～のようだ。 |  |

　⑴　次の表を完成させよ。〈1点×3〉

⑵　次の文の現代語訳を完成させよ。 〈2点×2〉

1　津　人　操㆑ 舟　若㆑ 神。 （荘子）

　 渡し守の舟を操ることが　　　　　　　　　　。

2　視㆓ 君　状　貌㆒、不㆑ 似㆓ 悪　人㆒。（後漢書）

　 あなたの顔つきや態度を見ると、　　　　　　　　　　。

1〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

2〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問四　傍線部①とはどういうことか。四十字以内で答えよ。 〈12点〉

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問五　傍線部②について、

　⑴ 書き下し文にせよ。 〈5点〉

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

　⑵ 「如一」とはどういうことか。最も適当なものを選べ。〈8点〉

ア　君子は君主に対する忠誠心を何よりも重んじ、仕えている君主に利益をもたらすべく、仲間で一つになって努力するということ。

イ　君子は崇高な理念のもとで自身の心を修養し、どのようなつまらない人物とでも分け隔てなく、仲間のを作り出すということ。

ウ　君子は名誉ある生き方を求めるもので、君主自身が道理を大切にした態度を示していれば、自然と君子の仲間が集うということ。

エ　君子は守るべき信念に従って行動し、互いに支え合う君子の仲間の関係は、どのような事態においても決して変わらないということ。

〔　　　〕

問六　傍線部③とはどういうことか。答えよ。 〈10点〉

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

【解答】

問一　君子　国　心　真　天下

問二　㋐＝徳のない人・つまらない人　㋑＝仕える〈4点×2〉

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 猶シホ（由）㆓〜㆒ノ（ガ） | | 似㆓タリ 〜㆒ニ | | 如シ（若・似）㆓〜㆒ノ（ガ） | |
| ちょうど～のようだ。 | 猶ほ〜の（が）ごとし | 〜のようだ。 | ～に似たり | ～のようだ。 | 〜の（が）ごとし |

問三　⑴　〈1点×3〉

⑵　1＝神業のようだ　2＝悪人のようではない〈2点×2〉

問四　利益を好むつまらない者たちの派閥では、利益が尽きると交際が疎遠になるということ。（40字）〈12点〉

問五　⑴　終始一のごとし。〈5点〉

⑵　エ〈8点〉

問六　君主は、偽物の仲間となるつまらない者を遠ざけ、真の仲間となる君子を登用すべきだということ。〈10点〉

【現代語訳】

　そもそも君子と君子とは、（信じる）道が同じであることから仲間を作り、つまらない者とつまらない者とは、（求める）利益が同じであることから仲間を作る。これは自然の摂理である。

　しかし私が考えるには、「つまらない者には仲間はなく、ただ君子だけにこれ〔＝仲間〕がある。」と。その理由はなぜか。つまらない者が好むのは、利益である。欲深くほしがるのは、財物である。利益を見つけた時は先を争うし、あるいは利益が尽きた時は交際が疎遠になる。

　君子はそうではない。守っているのは道義、実行しているのは忠信、大切にしているのは名誉と節操である。これらによって身を修養すると、信じる道を一つとしてお互いに助け合い、これらによって国に仕えると、心を一つにして共に成し遂げ、始めから終わりまで同じようである。これが君子の仲間である。だから君主は、ただつまらない者のにせものの仲間を退け、君子の真の仲間を登用すべきである。そうすると天下は治まるだろう。

【書き下し文】

そととは、をじくするをてをし、ととは、をじくするをてをす。れのなり。

れどもへらく、「にはし、だにはちるのみ。」と。のはぞや。のむのは、なり。るのは、なり。のをるにべばちをひ、いはくればちはりし。

はちらず。るのは、ふのは、しむのはなり。をてをむれば、ちをじくしてし、をてにふれば、ちをじくしてにし、のごとし。れのなり。にたるは、だにのをけ、のをゐるべし。ちまらん。

【補充問題】

問１　「凡君子与君子」（１行目）を全てひらがなで書き下せ。

問２　「小人無朋」（３行目）とあるが、それは筆者が「朋」をどのような関係だと考えているからか。最も適当なものを選べ。

ア　利害にかかわらず、同じ思いを抱き、助け合う関係。

イ　異なる派閥に属そうとも、一緒になって君主に利益を与える関係。

ウ　貧富にかかわらず、お互いの信頼を失わない関係。

エ　たとえ君主を裏切ることになろうとも、助け合う関係。

問３　「君子則不然」（６行目）とあるが、「不然」とはどういうことか。五十字以内で答えよ。

【補充問題解答】

問１　およそくんしとくんしとは

問２　ア

問３　利益や財貨を先を争って求め合い、利益が尽きた時は疎遠になるような仲間作りはしないということ。（46字）